

馬込文士村フェスティバル 2026

出展者募集要項

令和8年8月



公益財団法人 大田区文化振興協会

馬込文士村フェスティバル 2026

出展者募集要項

1.趣旨

大田文化の森で令和8年(2026 年)に開催する「馬込文士村フェスティバル 2026」を一緒に盛り上げていただく、出展者を募集します。

大正末から昭和戦前期にかけて、馬込・山王・新井宿の一带に文士や画家が多く移り住みました。のちにこの地域は「馬込文士村」と呼ばれるようになります。彼ら・彼女らはここに主体的に集まって創作活動を行っていました。

小説家の他にも、詩人・評論家・翻訳家・編集者・画家などが集まり、ひとつのコミュニティを築いていきました。文士たちは創作活動に取り組む一方で、ダンスや麻雀に興じながら、仲間たちと賑やかで笑いに充ちた時間を過ごしていたといえます。

「馬込文士村フェスティバル 2026」は、大田区の文化資源の一つ「馬込文士村」をテーマに、実演芸術(演劇等)を中心とし、大田文化の森を拠点として、地域性の高いフェスティバルとして開催します。かつて大田区に存在した「馬込文士村」を広く区民の皆さまが知る機会として、ゆかりのある近代文学作家、尾崎士郎や宇野千代、川端康成、室生犀星、北原白秋、萩原朔太郎、中原中也、坂口安吾といった名だたる文豪たちの作品やその暮らしぶりを、演劇などの実演芸術だけでなく、文学など様々なカルチャーと組み合わせ、多角的に楽しめる内容として紹介する地域密着型企画です。

今回、このフェスティバルに参加してくださる、個人・団体の方を募集します。小説だけでなく、絵画、詩、評論など、様々な創作・活動を行っていた文士たちのように、いま地域で活動する皆さんも、それぞれの関心や表現、コミュニティを持っていると思います。表現・創作の手段や活動ジャンルは問いません(創作物等(手芸等の作品や食品含む)の販売も可。ただし高額なものを除く)。あなたの活動も、どこかで文士ときっと結びつくはずです。賑やかで笑いに充ちたフェスティバルになるよう、ぜひ一緒に盛り上げてください。

2.事業詳細

- (1)事業名 OTA アート・プロジェクト 馬込文士村フェスティバル 2026
- (2)開催日時 令和8年(2026年)12月12日(土)・13日(日)各日11:00～16:00
- (3)会場 大田文化の森 全館(東京都大田区中央2-10-1)
- (4)事業内容 ホールでの上演、パネル展示、ブックフェア、キッチンカー、記念館講座、スタンプラリーなど

3.募集要件

- (1)募集定員 各日10組程度
- (2)費用 出展費無料
- (3)対象 大田区内で文化・芸術活動を行っている個人・団体の方
- (4)応募条件 「馬込文士村*1」と何かしらの関連があること。
ふだんの活動をベースに、内容を絡めていただく程度でかまいません。
形式は自由です。ジャンルは問いません(販売も可)。
注意事項*2に同意いただけること。

(例) 文士缶バッジをつくろうワークショップ

馬込文士クッキーをつくるワークショップ、販売

モガスタイルを真似っこしようワークショップ(宇野千代)

文士の時代をしのぶ着付け教室

文士たちの詩の朗読・読み聞かせ(萩原朔太郎など)

北原白秋作詞の歌を歌おう！合唱発表やワークショップ

文士村看板写真展

文士相撲を想像してみよう！四股踏みの会 等

※出展の可否は内容を確認した上で決定させていただきます。

※施設の使用規則により、条件や内容によって、出展いただけない場合もございます。

※出展に際し、事前説明会への参加をお願いします。

- (5)募集期間 令和8年(2026年)8月17日(月)10:00～9月18日(金)17:00 必着
当落通知は10月7日(水)頃を予定
- (6)応募方法 当協会ホームページよりお申し込み
- (7)出展可能施設 [1階] 第1スポーツスタジオ(リハーサル室)／第2スポーツスタジオ(スカッシュコート)
第1音楽スタジオ／第2音楽スタジオ
展示コーナー

[3階] 第1創作工房(調理室)／第2創作工房(美術室)／第3創作工房(工芸室)

和室

第1集会室

[4階] 第2集会室

※内容によっては出展場所を主催者側で調整させていただく場合がございます。予めご了承ください。

- (8)出展内容 創作・表現に関わるものであれば可
(ワークショップ、展示、歌、演奏、朗読、ダンス、スポーツ、漫才、マンガ、映像、料理、書道、華道、工芸、手芸等)
※創作物等(手芸等の作品や食品含む)の販売も可。ただし高額なものを除く。

(9)出展ブース(広さ)

基本 13 m²(長机2本分～)

※出展内容によって調整を行います。ご相談ください。

(10)利用可能な備品

<基本> ○長机 ○椅子

○その他、各施設で利用できる備品(数に限りがある備品は応調整)

※使用可能な備品は、大田文化の森ホームページをご確認ください。

<https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/bunka/halls>

4.事前説明会

- (1)開催日時 全2回 ①10月17日(土)10:30～ ②10月29日(水)18:30～
※各日1時間から1時間30分程度を予定

- (2)会場 ①大田文化の森 第3・4集会室 ②大田文化の森 第2集会室

*1「馬込文士村」とは

大正末期から昭和初期にかけて、数多くの文化人が東京府荏原郡馬込村(現在の大田区大森・馬込)に居を構えた時期がありました。小林古径、川端龍子、伊東深水といった芸術家のほか、近代文学作家の尾崎士郎や宇野千代、川端康成、詩人の室生犀星、萩原朔太郎、北原白秋など、一時は100人近くにのぼり、互いに交流を深めながら暮らしたといえます。のちにこの地域一帯は「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/manabu/hakubutsukan/magomebunshimura.html>

*2【注意事項】

- (1)出展者の決定後、各出展内容詳細を主催者及びディレクターが確認のうえ、出展場所(大田文化の森内の各施設教室・スタジオ等)の采配をおこないます。
- (2)出展内容によっては、複数の団体・個人で1部屋を共有する場合があります。
- (3)イベント終了後は使用施設内の原状復帰をお願いいたします。
- (4)使用できる設備、機材について
 - 施設に付帯する設備は利用可能です。
 - 操作等が必要な場合は出展者様で人員をご手配ください。
 - 備品類を使用したい場合、機材・楽器など持ち込みたい場合は事前にご相談ください。但し、太鼓などの大きな音の出る楽器、ハードロックなどの音量の大きいジャンルの演奏は発表内容に制限がある場合があります。ご相談ください。
- (5)施設内の壁・柱・扉・床等にテープ等の粘着性のある素材を使うこと、釘や鋏を打つことはできません。
- (6)控え室のご用意はありません。
- (7)謝礼等のお支払いや材料費等の支給はありません。
- (8)出展に関わる内容(受付、誘導等)で人員が必要な場合は、出展者様で人員をご手配ください。
- (9)ご応募の際お預かりした個人情報、当プロジェクト運営のための事務通信以外に使用することはありません。
- (10)応募多数の場合、出展者は主催者側で決定します。
- (11)選考結果は、ご応募いただいた方全員にメールにてご連絡いたします。